



## 株式会社 湯工房

～農産加工物を通して伝えたい「湯のめぐみ」～

- 村で直売活動に取り組む中で、「より集客を増やすためには、地元農産物を活用した加工品が必要では」という考えが芽生え、平成24年に株式会社を設立し、加工事業を開始しました。
- 会員の生産した野菜等を活用した弁当や菓子は、昔ながらの素朴で優しい味が好評を得ており、農産加工の取組が少ない大潟村にとって、地場産農産物をPRできる貴重な商品となっています。
- 女性だけのグループで株式会社を設立し、継続性のある取組にしようという姿勢が評価され、新たに加工の取組を考えている直売所を対象とした研修会で、社長自らが講師として講演するなど、他地域に大きな影響を与えています。



所在地	南秋田郡大潟村字西5-16-2
取組	地元農産物を活用した手作り弁当や菓子の製造
関係農家戸数	23戸



## 株式会社 そば研

～秋田の美味しいそばを届けます～

- 平成10年にそばの生産振興と耕作放棄地解消を目的に、稲作農家15戸で「羽後町そば栽培研究会」を立ち上げ、そばの作付を始めました。町のそば振興施策や、栽培実証ほの設置、計画的な機械導入などにより生産性が向上し、栽培面積が飛躍的に増加しました。
- 平成24年に「株式会社そば研」を設立し、製粉施設等を導入したことで、関東方面への営業を強化しました。調製作業や等級検査を受託するなど、そばの取扱業務を拡大し、これらの活動により販売額1億円超を実現しています。
- 関東方面の販売先にそばと地場産野菜等を組み合わせたセットメニューの提案を行うほか、地域農家に対しても野菜生産を募るなど、地域と連携した生産体制づくりに取り組んでいます。



所在地	雄勝郡羽後町大戸字大戸54
品目	そば
作付面積	そば栽培面積322ha
関係農家戸数	586戸



# ふるさと秋田 農林水産大賞

受賞者の業績

◆受賞者◆

### 産地部門

秋田しんせい農業協同組合 花き生産者連絡協議会菊部会	由利本荘市	農林水産大臣賞・大賞
秋田おぼこ農業協同組合 しいたけ部会	大仙市	大賞

### 担い手部門

【経営体の部】

農事組合法人 鏡田ファーム	鹿角市	大賞
農事組合法人 めかさわ	北秋田市	大賞
農事組合法人 大沢ファーム	横手市	大賞

【未来を切り拓く新規就農の部】

斉藤 洋	能代市	農林水産大臣賞・大賞
------	-----	------------

### 農山漁村活性化部門

株式会社 湯工房	大潟村	大賞
株式会社 そば研	羽後町	大賞





## 秋田しんせい農業協同組合 花き生産者連絡協議会 菊部会

～県内トップの花き産地を目指して販売額1億円を達成～



- 平成10年に直売を目的とした小ギク栽培を開始しました。平成13年以降、種苗供給のための規約や共販体制が整備されたことなどにより、栽培面積や栽培者が増加し、産地化が進んでいます。
- 市場の要求に応えられる品種を育成するため、国内種苗メーカーと連携した品種試験栽培に取り組んでいるほか、需要期内出荷に向けた開花予測支援や、病害虫調査に基づく防除などの技術支援を行っています。こうした取組が功を奏し、平成27年にJA部会のキク販売額が初めて1億円を超えました。
- 平成25年末の菊種苗センターの稼働、平成27年からの園芸メガ団地事業を活用した花きモデル団地の整備、新たな集出荷施設や真空予冷設備の整備により、更なる高品質安定出荷や生産拡大が進んでおり、県内トップの花き産地の形成を目指しています。

所在地	由利本荘市荒町字崎台1-1
品目	キク
作付面積	16.5ha
構成戸数	58戸



## 秋田おばこ農業協同組合 しいたけ部会

～技術向上で高品質な菌床しいたけ栽培を実現～

- 平成10年に部会を設立し、大規模稲作農家や集落型法人等における周年農業の複合品目としてしいたけの導入が進み、現在では販売額が当JA園芸品目トップの4億円まで拡大しています。
- 部会員が開発した半上面栽培技術の普及により、品質を確保しつつ、同一の菌床から長期間収穫することでコスト低減を図っており、バランスのとれた菌床しいたけ経営を実践しています。
- 毎月、全戸巡回を実施し、失敗事例も含め部会員で共有し、技術レベルの向上を図るとともに、全戸巡回に基づく正確な産地情報を出荷先市場へ発信することで、産地の信頼の確保を図っています。



所在地	大仙市佐野町5-5
品目	しいたけ
経営規模	菌床しいたけ53万菌床、原木しいたけ4万本
構成戸数	67戸



## 担い手部門 経営体の部



## 農事組合法人 鏡田ファーム

～女性も活躍!地域をリードする法人として～

- ほ場整備を契機として、平成19年に集落ぐるみの農業推進のため「鏡田集落営農組合」を立ち上げ、平成24年に水稲と枝豆を中心とした土地利用型農業の確立を目指して法人化し、現在の組織へと発展しました。
- 年間を通じた収入確保に向け、枝豆、にんじん等の品目組合せによる7月下旬～3月の出荷、加工を行っています。野菜への積極的な取組により、園芸部門が水稲部門を上回る売り上げとなり、雇用等による地域還元額も拡大しています。
- 法人女性部が主体となって規格外枝豆のむき豆や乾燥野菜の製造に取り組んでいます。また、当法人の呼びかけで、5法人からなる鹿角法人連携推進協議会が発足し、介護老人保健施設への食材供給や首都圏への販促活動を実施しています。

所在地	鹿角市花輪字前田87
品目	枝豆、水稲、にんじん、スイートコーン等
作付面積	27ha
構成戸数	33戸



## 農事組合法人 めかさわ

～地域の活性化に貢献する複合経営～

- 集落の40歳代の有志で立ち上げた集落営農組合を平成21年に法人化したことを契機に、水稲・大豆を基幹とした規模拡大や枝豆、まいたけ等の多品目園芸作物の導入、無人ヘリ防除の請負により、地域雇用を活用した複合経営を実践しています。
- 米については取引先の要望に応じた品種作付や販売等を行い、個人消費者から大手外食チェーンまで幅広い販路を開拓しています。園芸作物では枝豆を軸に置き、品目と作型の組み合わせにより長期出荷・販売と年間雇用創出を実現しているほか、顔の見える直接販売をモットーに積極的に取り組んでいます。
- 旧鷹巣町の4集落型農業法人で(株)たかのすファームを立ち上げ、ネットワーク型園芸拠点育成事業を活用した枝豆大規模栽培に取り組み、一大産地を目指しています。



所在地	北秋田市綴子字往還下10
品目	水稲、大豆、枝豆、まいたけ、ほうれんそう、にんにく、ごぼう
作付面積	81.2ha
構成戸数	16戸



## 担い手部門 未来を切り拓く新規就農の部



## 農事組合法人 大沢ファーム

～ぶどうジュース加工による6次産業化への挑戦～

- 平成24年に3戸のぶどう農家が「農事組合法人大沢ファーム」を設立し、ぶどうの生産及びジュース加工に取り組んでいます。原料のぶどうは、樹上完熟した果実のみを使用しているため、糖度が高く風味豊かなジュースとなり、消費者から高い評価を得ています。
- 販売は横手市観光協会と連携し、「味を売りにした高級ジュース」として、富裕層をターゲットに独自のルートで行っています。国内では高級スーパーやデパートへ直接販売するほか、香港や台湾、上海への輸出にも取り組み、さらなる販路拡大のため積極的に活動しています。
- 地域の6次産業化のモデル事例になるとともに、農閑期の若手農業者に新たな雇用の場を提供しています。また、地域初のジュース加工受託施設としても、期待されています。

所在地	横手市大沢字羽根山102
品目	ぶどう、ジュース加工
経営規模	ぶどう0.5ha、 ぶどうジュース年間生産量33,876ℓ
構成戸数	3戸



## 斉藤 洋

～新規就農者によるねぎ大規模経営の取組～

- 平成26年にUターン就農し、親元でねぎの栽培技術を習得しました。平成27年には、JAあきた白神が「園芸メガ団地」を整備したことを契機に、「轟地区園芸メガ団地」において、営農主体の1人としてねぎ単作による経営を開始しました。
- 綿密な作業計画と手間を惜しまない丁寧な栽培管理により、高品質(商品化率95%)、高単収(約4t/10a、地域平均の130%)を実現し、平成28年度には取組2年目でJAあきた白神管内のねぎ生産者の販売額1位を獲得しました。
- 機械化一貫体系によるねぎ大規模経営への取組は、地域内雇用を生み出しているほか、新たな新規就農のモデルケースとして、ねぎ栽培に取り組み新規就農者の増加にも貢献しています。

所在地	能代市槐字八森道下39-1
品目	ねぎ
作付面積	3ha

